



■ 認知症サポート講座

12月1日、役場・福祉課の方を講師にお招きして、3年生を対象に「認知症サポート講座」を行いました。

認知症とは、脳細胞が働きにくくなるために起こる状態や症状のことを言います。認知症が進行すると、理解する力や判断する力が弱くなり、社会生活や日常生活に支障が出てきます。

二宮尊徳さんの言葉に「池の水は、かき寄せると向こうへ逃げ、向こうへ押した水はこちらへ戻る。」という言葉があります。もし、おじいちゃん、おばあちゃんが認知症になられた場合は、その人の方へ、そっと優しい水を送ってやりましょう。そうすれば、きっと、それを見ている子どもや孫から、今度は自分たちの方へ優しい水が返ってくるはずですよ。



子ども叱るな来た道だもの、
年寄り笑うな行く道だもの、
これから通る今日の道、
通り直しのできぬ道

■ 筑後地区小学校音楽祭

12月3日、6年生が久留米石橋文化センターでおこなわれた、筑後地区小学校音楽祭に出演しました。

草場先生の指揮、板垣さん、庄司先生の伴奏で『大切なもの』と『Dream&Dream』を歌いました。

大きな舞台上、しかも大勢の観衆を前に、緊張したと思いますが、心が一つになった、素晴らしいハーモニーを奏でてくれました。音楽は、気持ちやエネルギーが音となって表現されたとき、聞いている人に感動を与えるものだと改めて気づかされました。

たくさんの保護者の皆様にご観覧いただき、ありがとうございました。

第53回 筑後地区小学校音楽祭(合唱の部)



■ 4年生 親子レクレーション

12月8日、4年生が親子レクレーションで、クリスマス・リースを作りました。色々なデコレーションやリボンを使って、工夫しながら、自分だけのオリジナルリースを完成させました。十人十色という言葉がありますが、それぞれの個性が生かされた素晴らしい作品ばかりでした。

児童と保護者が協力し、和気藹々とした時間を楽しめた親子レクレーションでした。



福岡県小学校児童画作品展 特選入賞

平成27年度、福岡県小学校児童画作品展で、6年生宮野晃真さんの作品が特選に入賞しました。

福岡県小学校児童画作品展は、児童の情操教育と美術教育振興を目的として毎年開催され、福岡県下から約27万点の作品が出品されています。

宮野さんの作品は、体育の時間に跳び箱を跳んでいる姿を描いたものです。跳ぶ時の真剣な表情と躍動感が画面いっぱいに表現されており、跳んでいる勢いがこちらまで伝わってくるようです。



宮野晃真さんの作品

校内持久走大会にむけて

12月17日の校内持久走大会にむけて、練習に熱が入ってきました。持久走は、人との競争や目標タイムの達成ばかりでなく、「力を抜きたい」、「ゆっくり走りたい」、「歩きたい」という自分の弱さとの闘いでもあります。

1996年アトランタ五輪女子マラソン銅メダリストの有森裕子さんは、入賞インタビューで「レースが終わってから、なんでもっと頑張れなかったのかと悔やむレースはしたくなかった。今回はそう思っていないし……、初めて自分で自分をほめたい」と言いました。

誰でもきついことは嫌だし、きつい時はそこから逃げたいと思うものです。しかし社会に出ると、きついことも、「もうやめたい」と思うこともいくつも待っています。

持久走は、どのような場面でも、自分の力が発揮できる精神的な強さが身につけられる種目だと思っています。

また、最近は走ることを楽しむ人も多く、マラソン大会やロードレースへは、抽選に当たらないと参加できない大会もいくつもあります。

いくつ年を重ねても、永く走り続けられる人もまた、持久走の勝者だと言えます。



《当面のスケジュール》

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 12月17日(木) | 中牟田小持久走大会、期末PTA |
| 12月24日(木) | 終業式 【児童の下校は、13時40分を予定しています】 |
| 12月25日(金) | 中牟田小ウインタースクール(補充的な学習会です) |
| 12月25日(金) | 冬休み |

※4年生のクロダマル収穫の様子が、12月18日(金)NHKテレビ「ロクいち福岡」で放映されます。(18時10分～19時)よろしかったらご覧ください。